

東大（加藤研）へのご寄付のお願い



<https://utf.u-tokyo.ac.jp/>
(近日HP公開予定)

「採掘」から「ものづくり」まで、国家戦略として一連のサプライチェーン構築を目指す

日本の未来のため、法人様、個人様から東大（加藤研）へのご寄付をお願いします

加藤泰浩／東京大学レアアース泥開発推進コンソーシアム
お問い合わせ先： TEL: 03-5841-7019 E-mail: k-fujinaga@sys.t.u-tokyo.ac.jp (加藤研究室)
TEL: 03-5841-0489, E-mail: rey-mud-jimu@ducru-tokyo.ac.jp (事務局)

※ ご寄付いただいた後、東大総長から領収書およびお礼状を発行いたします。また、ご寄附いただくことで、「税制上の優遇措置（当該寄附金の額（所得の40パーセントを限度）から2,000円を引いた額を所得税の課税所得から控除）」がござります。

南鳥島レアアース泥を開発して日本の未来を拓く



— 環境に優しいクリーンな資源 —

プロジェクト概要

活動報告

応援コメント



ご支援のお願い

工学系研究科の加藤泰浩研究室では、2013年に日本の排他的経済水域（EEZ）である南鳥島周辺で、次世代型のクリーンな新資源である「レアアース泥」が膨大な量存在していることを発見しました。我々はこの南鳥島レアアース泥が商業ベースで活用できるように、探査・モニタリング・環境調査・採泥・揚泥・選鉱・製錬・残泥処理、新素材に関する研究開発を精力的に進めています。

レアアースは我が国の基幹産業であるハイテク産業やグリーンテクノロジー産業に必須の金属ですが、その供給は他国に依存しているのが現状です。日本独自で「国産レアアース資源」を開発し、国の基幹産業の命運を他国に握られることのない「資源安全保障」を確立することが、日本にとって喫緊の課題です。

レアアースは我々の日常生活の様々な場面で活用されています。このレアアース泥を国産資源として商業開発する技術確立し、「採掘」から「ものづくり」まで一連のサプライチェーンを構築することができれば、停滞する日本のものづくり産業を活性化させられると期待されています。

私たちは、国の機関や企業等と連携して「レアアース泥開発推進コンソーシアム」を立ち上げ、南鳥島国産レアアース泥を開発を目指した研究開発を進めています。南鳥島海域で約1ヶ月の調査航海を行い、研究開発に必要なレアアース泥を採取して「選鉱→製錬→分離・精製→製品作成」という一連のフローの実証試験を行う計画です。公的資金も活用しますがそれだけでは充分ではありません。我々の日々の生活に欠かせないレアアースの確保、そして国の安全保障にもかかわる新たな資源の開発に一人でも多くの皆様から力強いご支援を賜りたくお願い申し上げます。